

めます。また、高齢農業者等を対象に野菜栽培講習会を年数回実施してきましたが、本年度よりその効果を発表する菜園品評会を計画しました。

このことで農家の栽培意欲と技術向上が図られたらと考えています。

農業農村整備事業については、県営事業の継続事業である農道整備（農免農道永野西部Ⅰ期地区、過疎基幹農道中津川南地区）と新たに農免農道永野西部Ⅱ期地区の整備を予定しています。また、団体営事業の県単独農業農村整備事業で新大迫地区を計画しています。中山間地域総合整備については、村づくり推進委員の方々の御協力をいただきながら平成15年度事業採択を目指していましたが、一部計画の変更が生じたため、実施計画の再検討を計り平成16年度採択へ向け進めます。

〔林業〕

本町の65%は森林であり、現在木材価格が低迷しているとはいえ、自然環境保全といった公益的機能に大きな役割

を果たしているの言うまでもありません。昨年度、国は森林の保全維持を目的に森林整備地域活動支援事業を創設しました。本町もいち早くこの事業を活用し、昨年は260haの施行計画を作成しましたが、本年は更に540haを計画し森林の整備を推進します。

また、森林環境保全整備事業で85haの間伐を目標に、林業生産の向上に努めます。

林道事業については、昨年新規採択された中津川弓之尾地区大迫線を引き続き実施することになっています。治山砂防事業については、3カ所を計画しています。

〔交通基盤の整備〕

町道整備については、住民の身近な生活道路として計画的に維持・整備を進めます。

維持工事については、特に路面荒廃の著しい改良工事の計画の無い17路線の工事を計画しています。また、緊急な補修工事や伐開作業等については、引き続き作業班5名で対応していく計画です。

道路改良整備については、

新規工事を3路線、測量を2路線計画しています。継続路線については、過疎債・辺地債・県振興資金及び町単独事業で9路線を引き続きおこないます。大丸下り山線は平成15年度で完了の予定です。

国・県道の整備は、地域高規格道路の北薩空港道路が昨年8月に開通し、平成14年度から薩摩道路の測量設計に着手したところです。4月には地権者へ用地説明をおこない、8月頃から用地の契約等のご相談をし、早ければ平成16年度から工事着手の予定です。今後も早期整備促進の要望をおこないます。

主要県道牧園薩摩線は、平成11年度から測量・用地調査に着手し、工事の準備を進め、平成15年度予算で整備完了の予定です。

その他の県道薩摩祁答院線等の整備促進は、関係する期成会並びに祁答院土木協会と一緒に、また、新町建設に係わる主要事業として早期整備の要望をおこないます。

以前、町内の中心街に街灯がなく、大変暗いイメージが

あると指摘がありました。昨年は役場前に九州電力の協力で一部設置を図りました。本年度は、コミュニティ助成事業で薩摩祁答院線の弓之尾地区に設置を計画しております。今後も計画的に設置を図ります。

〔公園整備及び住宅建設〕



平成13年度穴川のリバーフロント整備事業が完了し、今後は河川護岸を利用したイベント広場等の整備のための測量設計をおこないます。また、グラウンドゴルフ場の芝について、整備後9年を経過し傷みが著しく、利用者から苦

情があり、本年度自然芝に更新するよう計画しました。住宅建設については、古い住宅の解体を進めながら、求名校区に2戸計画し、建設用地の選定を進めます。

〔学校教育振興〕

第4次の総合振興計画及び町教育行政の重点施策に基づき、「薩摩の未来を拓く教育を推進する」ため、引き続き学校施設をはじめ学校環境の整備、国際理解教育の推進として中学校はもとより各小学校への継続的ALTの派遣、「総合的な学習の時間」を通じた郷土教育への積極的な取り組みに努力します。また完全学校週5日制に対応して、今後とも制度の趣旨に基づき子どもの「生きる力」の育成を目指して、家庭・学校・地域社会の相互連携を一層強化するとともに、地域ぐるみで青少年の健全育成が図られるよう、鋭意努力します。

幼稚園教育では、永野・中津川幼稚園を求名幼稚園に統合し、名称を「さつま幼稚園」として、本年4月1日からス